

京都府住宅審議会府営住宅管理部会（第20回）における委員御意見等

項目	御意見等	資料追加	資料
現行の京都府府営住宅等長寿命化計画の概要	長寿命化を図ることは重要であるが、高齢化対策は防災に関連してバリアフリーとともに重要。耐震改修だけでなく、避難経路改修も併せて考えることを意識しておくべき。 避難距離の短縮化も防災計画の大事な項目となる。		
現行の京都府府営住宅等長寿命化計画の概要	山城地域、南丹地域、中丹・丹後地域あたりの府営住宅の役割に関する展望が必要、府が公営住宅を整備する意味や必要性をしっかり考える。		
ストックの建設時期及び建替え時期	耐震性能が不足するものがどの程度あるのか、次回以降の検討の際に提示してほしい。	府営住宅の耐震性能状況	1
その他	府営住宅への外国人の入居等により若年人口が増える意味では提供していくことも考えられる。		
全体を通して	地域的な問題についてはできる限り地図を使ったデータ表示を検討してほしい。		

令和7年4月1日時点

	~1955年 S25年~ S30年	~1960年 S31年~ S35年	~1965年 S36年~ S40年	~1970年 S41年~ S45年	~1975年 S46年~ S50年	~1980年 S51年~ S55年	~1985年 S56年~ S60年	~1990年 S61年~ H2年	H3年~ H7年	H8年~ H12年	H13年~ H17年	H18年~ H22年	H23年~ H27年	H28年~ R2年	R3年~ R7年	R8年~ R12年	総計
30年	木造	24戸	16戸	45戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	85戸
	簡平	0戸	41戸	127戸	155戸	18戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	341戸
45年	簡二	0戸	16戸	0戸	166戸	490戸	165戸	34戸	4戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	875戸
	耐二（特耐）	8戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	28戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	36戸
70年	中耐	0戸	0戸	0戸	2,635戸	3,778戸	2,374戸	529戸	761戸	964戸	879戸	137戸	315戸	120戸	140戸	0戸	12,632戸
	高耐	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	131戸	215戸	111戸	0戸	150戸	0戸	0戸	0戸	607戸
総計	32戸	73戸	172戸	2,956戸	4,286戸	2,539戸	563戸	765戸	1,095戸	1,122戸	248戸	315戸	270戸	140戸	0戸	0戸	14,576戸

0.22% 0.72% 1.90% 22.18% 51.58% 69.00% 72.87% 78.11% 85.63% 93.32% 95.03% 97.19% 99.04% 100.00% 1 2 4 団地

7 3 2 棟

※各項目は右の略称である。	【木造】木造の住棟	【耐二】耐火構造で2階建の住棟	(うち中耐火以上)	4 1 0 棟	13,239戸)
【簡平】簡易耐火構造で平屋建の住棟	【中耐】耐火構造で中層（3～5階建）の住棟				
【簡二】簡易耐火構造で2階建の住棟（特殊耐火構造を含む）	【高層】耐火構造で高層（6階建以上）の住棟			56.01%	90.83%

※棒グラフは「建設年度」、折線グラフは「法定耐用年限」を示す。